

魅力ある参加型学習講座の作り方 ～楽しく！一緒に参加できる方法を学ぼう～



「自分の体験談で、もっと生徒を惹きつけたい！」(出前講座 講師より)

「生徒を巻き込んだ、参加型の講座にしたい」(依頼側学校、講師両者より)

「参加型ワークショップって、どうやって作るの？」(教員、出前講座講師より)

こんな人はぜひご参加を！

JICA東北では、学校と国際協力の現場をつなぐため、国際協力出前講座(青年海外協力隊OVが出張授業を行うもの)や教師海外研修(先生が、国際協力の現場を視察し、教室で国際理解の授業を行うもの)を行っています。途上国のことを、子どもたちが「ジブンゴト」として理解するには、分かりやすく魅力的で自分の頭で考えられる講座(授業)が求められます。そんな講座をつくるためのイロハ、この機会に学んでみませんか？

2014年2月16日(日) 13:00-17:30

会場: 仙台第一生命タワービル 参加費: 無料 ★要予約

対象: 協力隊経験者、教師海外研修参加者、地域の開発教育実践者、その他参加型学習に興味のある方
当日スケジュール:

13:00-15:00 ①魅力的な講座の作り方を学ぶ【講師】地球ひろば 八島 敬氏

15:15-17:15 ②参加型学習についてまなぶ【講師】FKG米沢 折笠 由香里氏・鈴木 精氏

講師プロフィール

八島 敬氏: 日本体育大学(柔道部)卒業。協力隊では、ポーランド西部の工業高校にて体育の授業、柔道クラス、日本文化の紹介などにも取り組む。帰国後は、私立高校の教員として5年間勤務した後、JICA地球ひろばにて開発教育/出前講座の運営、講師のスキルアップセミナー等に組み込む

折笠由香里氏: H16年度JICA東北教師海外研修(モンゴル)派遣。現在は山形県の中学校に勤務する傍ら、FKG米沢(後述)のメンバーとして国際理解教育の普及を行っている。

鈴木精氏: 青年海外協力隊としてザンビアに赴任した経験あり。著書『ザンビアからの風』

※FKG米沢: 山形県米沢地域の開発教育ネットワーク。定期的に勉強会を重ね、ワークショップの研鑽を積んでいる。



お申込み方法

★E-mail・FAX・電話にて必要事項[名前、所属、連絡先、派遣国・派遣隊次・職種(協力隊経験者のみ)]をお知らせください。締切: 2月14日(金) 人数制限あり: 20名

E-mail: Shimizu-Chie@jica.go.jp TEL/FAX: 022-223-4772/022-227-3090

担当: 清水千絵 市民参加協力調整員(開発教育)

主催: JICA 東北